



**The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships**  
**30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534**

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・  
新興国市場開拓事業  
(研修・専門家派遣事業)

2019年9月

## 募集要項

中南米生産管理研修コース

**The Production Management Training Program for Latin America**  
**[LAPM]**

2020年1月22日～2月4日

## 1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2018 年度（平成 30 年度）までに世界 171 カ国から延べ 194,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 204,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の研修生や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

中南米生産管理研修コース（LAPM）は、AOTS ラテンアメリカ同窓会連合（FELAAS）の協力により行われる研修コースです。中南米の製造企業における中・上級管理者が自社における生産活動を効率よく進めるために必要な生産管理能力向上を目的とした研修コースです。

## 2. 対象国

アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、セントビンセントおよびグレナディーン諸島、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、ニカラグア、ハイチ、パナマ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ベリーズ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、メキシコ、モントセラト

## 3. 参加者の人数：

22 名

## 4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、製造業において、生産管理に携わる中・上級管理者の方。また中小企業においては生産管理に携わる経営者、経営幹部、さらに生産管理について指導する立場にある公的機関、団体のスタッフ及び管理者も可とする。
  - (2) 年齢が 20 歳以上の方
  - (3) 原則として、3 年以上の実務経験を有する方
  - (4) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
  - (5) スペイン語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
  - (6) 心身健康な方
  - (7) 上記「2. 対象国」に居住の方
  - (8) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
  - (9) 過去に低炭素技術輸出促進人材育成事業及び本事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- \* 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。

- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、現地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) AOTS の管理研修コースは、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

## 5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

### （日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

AOTS のホームページ内の以下の案内をご参照の上、応募書類一式を **2019 年 11 月 5 日（火）** までに、AOTS 研修・派遣業務部（10．お問合せご参照）に到着するよう提出してください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

### （海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力団体を通して、以下の応募書類一式を **2019 年 11 月 5 日（火）** までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外協力団体による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (2) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (3) 顔写真（4×3cm）2 枚（裏面に名前を書いてください）
- (4) 勤務先概要を紹介する資料
- (5) パスポートコピー  
※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。
- (6) 事前研修レポート
- (7) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- (8) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）  
※この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- (9) 管理研修の研修効果について（AOTS 所定様式）  
※この書類は、質問形式となっております。原則として本人の勤務先の代表者の方がご記入ください。（本募集要項の最後にこの様式があります。）
- (10) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

注意：

※ソフトコピーでの書類は受け付けません。

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、2019 年 12 月 5 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会

終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で 20 名に満たない場合、本コースを中止または延期します。

## 6. 研修コースの概要：

### ■ 目的

本コースは、現場で直接生産管理に携わる中・上級管理者、工場長等が自社における生産活動を効率よく進めるために必要な生産管理能力の向上を目的としています。

### ■ 期待される効果

- (1) 生産活動を効率よく進めるために必要な日本の生産管理の考え方、効果的な日本の生産システムについての理解が深まります。
- (2) リーン生産方式等高いレベルの生産管理システムを導入・実施する上で必要な、生産現場の基盤を整備するための生産管理技術の運用方法についての理解が深まります。
- (3) 自社に適応した管理手法の導入・実施、推進するための具体的な計画作成能力が高まります。

### ■ 期間

2020年1月22日（水）～2月4日（火）（2 週間）

### ■ 内容

#### 【ステップ 1】

日本の製造業の現況、日本の「ものづくり」の考え方、日本の優れた製造企業が実践している生産管理について理解します。

#### 【ステップ 2】

日本の効率的な生産システム、生産保全、ムダ排除などの改善手法、改善活動の推進方法について講義や演習を通じて学びます。また企業見学を通して、実際にそれらの管理手法がどのように現場で実践されているかについて理解を深めます。

#### 【ステップ 3】

講義や見学、ディスカッションで学習したものを基に、自社の製品品質、生産性の向上を妨げている原因を明確にし、それらを解決するために研修を通じて学習した日本の生産管理手法を自社に導入・実施し、推進するための具体的な行動計画を策定し、最終日に発表します。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕食前にグループ討論が行われます。  
日程表（予定）をご覧ください。

### ■ 使用言語

講義、企業見学、演習はスペイン語あるいはスペイン語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材はスペイン語で作成されます。

### ■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター（KKC）<http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>

558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香 1 丁目 7-5

電話： 06-6608-8260（受付） ファックス： 06-6690-2678

## 7. 経費：

## &lt;日本国内の法人からお申し込みの場合&gt;

以下の試算例をご参照ください。

## 【試算例1】中堅・中小企業の場合

1/21来日・1/22～2/4研修コース参加・2/5帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	105,196 [2/3]	52,598 [1/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	248,000	160,000
3. 国内移動費 (関西 空港 - 関西研修センター)	<u>1,800</u>	1,800	
合計	<u>567,594</u>	<u>354,996</u>	<u>212,598</u>

## 【試算例2】一般企業の場合

1/21来日・1/22～2/4研修コース参加・2/5帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	52,598 [1/3]	105,196 [2/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	204,000	204,000
3. 国内移動費 (関西 空港 - 関西研修センター)	<u>1,800</u>	1,800	
合計	<u>567,594</u>	<u>258,398</u>	<u>309,196</u>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。

※渡航費は補助対象外となります。

※別途、運営賛助金のお支払いについてご相談させていただきます。

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務グループ（10. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金10億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。

## ◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	8,180 円/泊
	来日日以外	9,020 円/泊
研修旅行時	宿舎費	10,267 円/泊
	食費	2,620 円/泊
雑費		1,040 円/泊

※上記金額は消費税10%適用（2019年10月1日施行予定）時の金額です。

## &lt;海外の法人からお申し込みの場合&gt;

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

## 8. 査証（V I S A）の取得について：

### (1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

### (2) 査証の取得

AOTS 研修参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。

ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

### (3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ ビジネス ・ トラベルカード（A B T C）」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致しているかについて、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

## 9. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

### (1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務グループ

電話：03-3888-8211 E-mail: [kojinjoho-cj@aots.jp](mailto:kojinjoho-cj@aots.jp)

### (2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

## 10. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

研修・派遣業務部 研修業務グループ

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4 階

電話：03-3549-3051

Fax：03-3549-3055

E-mail: [g-ukeire-ak@aots.jp](mailto:g-ukeire-ak@aots.jp)

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1 丁目 30-1

電話：03-3888-8256

Fax：03-3888-8264

E-mail: [shouhei-au@aots.jp](mailto:shouhei-au@aots.jp)

※各国の海外協力団体についての情報は事業統括部海外協力グループにお問合せください。

中南米生産管理研修コース [LAPM] 日程

2020年1月22日～2月4日

AOTS 関西研修センター (予定)

月/日	午前	午後
1月21日 (火)	(来日)	
22日 (水)	オリエンテーション /開講式	講義・演習：日本の生産システムによる生産性向上 ・ジャストインタイム生産（流れ生産、タクトタイム、後工程引取りとかんばん） ・自動化
23日 (木)	講義：品質管理	見学：改善活動事例
24日 (金)	講義：5S・改善・ムダ排除による生産性向上 ・ムダの概念、7つのムダ ・5S、動作分析、1個流し生産、ラインバランスとサイクルタイム	
25日 (土)	講義・演習：改善演習 ・改善活動成功のためのポイント ・動作分析のIE手法を活用した演習	
26日 (日)	休日	
27日 (月)	休日	
28日 (火)	講義：全社的保全活動による生産性向上 ・現場における効率化阻害要因 ・自主保全活動と個別改善	
29日 (水)	(企業等見学 遠隔地)	見学：生産性向上事例
30日 (木)		見学：改善活動事例
31日 (金)		見学：日本の生産システム事例
2月1日 (土)	休日	
2日 (日)	休日	
3日 (月)	講義：日本の製造業におけるエネルギー管理(1) ・生産活動とエネルギー ・日本企業の省エネ活動取組み事例	見学：品質管理事例
4日 (火)	最終レポート発表	最終レポート発表／修了式
5日 (水)	(帰国)	

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

PRE-TRAINING REPORT

The Program on Production Management for Latin America  
[LAPM]

**These documents will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.**

**\*AOTS will not use this information for any purposes other than an AOTS training program.**

Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization  (preferably attach an organization brochure)	
5. Your position and name of your department/division  (preferably attach an organizational chart, indicating your position)	
6. Your duties in detail	



<p>7. Present situation of production management in your organization</p>	
<p>8. Most critical managerial problems related to production management you are now facing, indicating their causes from your viewpoint</p>	
<p>9. Possible measures to solve such problems together with limitation factors</p>	
<p>10. Your expectations of the program in relation to the described problems</p>	

Name
------

## *Questionnaire*

### 1. Level of Comprehension

Please indicate the level of your comprehension by checking the appropriate boxes.

**Level a:** You can explain what it is to others. Or you have applied it in your work.

**Level b:** You know what it is. Or you have learned it at college/university or by yourself.

**Level c:** You do not know it well. Or you have never heard of it.

Item		a	b	c	Item		a	b	c
1	Just-in-time (JIT)				18	Production of many models in small quantities			
2	<i>Kanban</i> system				19	SMED (Single Minute Exchange of Die)			
3	Production leveling				20	Small-lot production			
4	Pull system				21	PM			
5	Takt time				22	Preventive maintenance			
6	Continuous flow processing				23	Maintenance Prevention			
7	Multi-process handling				24	<i>Karakuri Kaizen</i>			
8	Standardized Operation				25	7 major losses			
9	Standard in-process stock				26	Individual Improvement			
10	<i>JIDOKA</i> (Autonomation)				27	Autonomous maintenance			
11	5S				28	Planned maintenance			
12	Visual control				29	Quality maintenance			
13	<i>Poka yoke</i> (fool proof)				30	Mean Time Between Failures (MTBF)			
14	<i>Muda</i> (waste)				31	Mean Time To Repair (MTTR)			
15	Cycle time				32	Daily maintenance			
16	<i>Kaizen</i> (Continuous improvement)				33	Overall Equipment Efficiency (OEE)			
17	Liveliness index of transportation				34	Small Group Activities			

### 2. The Standard and Tools Your Company Has Adopted

Please indicate the current situation in your company by checking the appropriate boxes.

Techniques / Tools	Implemented with Japanese Consultant	Adopted	Not Adopted
5S			
ISO9000			
JIT			
TQM			
PM			

2W English
------------

### About the Benefits of Management Training Program

Concerning the benefits of the management training program, please answer the following questions. Your individual answers will remain confidential.

Name of training course (may be in acronym names, such as SHOP and PQM):

\_\_\_\_\_

Country:

\_\_\_\_\_

Company name:

\_\_\_\_\_

Name of person filling out questionnaire form (representative of organization):

\_\_\_\_\_

Job title of person filling out questionnaire form (representative of organization):

\_\_\_\_\_

Names of participants of the training program:

\_\_\_\_\_

#### Question 1:

This management training program receives financial support from Japanese government subsidy. Is there a difference in benefits by utilizing the AOTS training program compared to other cases where a training program on the same subject is provided by your own or an external agency of human resource development? Tick the following statement that applies to you (multiple answers allowed).

- Understanding in the subject of the training program increases further.
- Motivation improves further.
- Understanding of Japan increases further.
- Communication ability improves further.
- The stability of the work force in the company improves further.
- Others: [ \_\_\_\_\_ ]

#### Question 2:

Are you going to use what is learned from the AOTS training in your company after the participants return? Tick the following statement that applies to you.

- Yes, I am.
- No, I am not.

Question 3:

(For a representative)

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training in your company, how many managers and workers would receive the benefits of this during the year after the training? Please provide your rough estimate below.

About \_\_\_\_\_ people

Question 4:

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training, what benefits do you expect? Tick the following statement that applies to you (multiple answers allowed).

- A reduced load to the environment and energy saving will be realized.
- Technology development and product design and development will be possible in the home country.
- Production capacity will expand. [About \_\_\_\_\_] %
- Productivity will increase. [About \_\_\_\_\_] %
- Product and service quality will improve. [About \_\_\_\_\_] %
- Costs will be reduced. [About \_\_\_\_\_] %
- Market will be extended.
  
- Others [\_\_\_\_\_]

Question 5:

Please provide the sales amounts of your company.

Actual sales for the last fiscal year [\_\_\_\_\_] USD \* 1 USD = 112JPY  
 Estimated sales for this fiscal year [\_\_\_\_\_] USD \* 1 USD = 112JPY

Question 6:

The AOTS training program costs about 6,000 USD per person to run the course. Do you think the AOTS training programs produce enough benefits to justify the expense (6,000 USD)? Tick the following statement that applies to you.

- Yes
- No

Question 7:

The following question is relevant to the above Question 6. Supposing that the expense (6,000 USD) is defined as “1”, describe the benefits obtained from the AOTS training program in numerical value. Roughly assess the benefits for the next five years after the training. Tick the following statement that applies to you. A very rough estimate is fine. Your response is highly appreciated.

- Below 1.0 => Provide a specific value [\_\_\_\_\_]
- 1.0 or above and below 1.5
- 1.5 or above and below 2.0
- 2.0 or above and below 2.5
- 2.5 or above and below 3.0
- 3.0 or above => Provide a specific value [\_\_\_\_\_]

End of document